



日本ビジネス実務学会 会報 80号

Bulletin of the Japan Society of Applied Business Studies, No. 80

発行日/2024年3月31日発行
編集/日本ビジネス実務学会(広報委員会)
事務局/〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内
URL: <http://www.jsabs.gr.jp/>

《ブロック研究会活動報告号》 会長あいさつ

「三善を戦場に送れ！
— アウトプット重視でいきましょう —」

会長 大島 武(東京工芸大学)



昨年6月開催の総会で会長に就任させて頂いてから10ヶ月ほど経過しました。この間、各所で充実した内容のブロック研究会が開催され、ビジネス実務論集の編集作業、助成研究審査、全国大会に向けての準備、学会Webページの移行・外注化など、何もしない会長をよそに全て着々と進められ、改めて当学会の組織力を痛感しているところです。理事の先生方を中心とした関係各位のご尽力に厚く御礼申し上げます。

さて、御礼を申し上げた後の注文で恐縮ですが、会員の皆様にお願いが二つございます。一つは是非、お知り合いに当学会をご紹介頂きたいということ。やみくもに規模の拡大を目指すものではありませんが、現在の学会の内容的充実を考えると、仲間を増やして活動を広げていかないとつらいと感じます。今年の全国大会も当初発表申込が伸びなかったのが、理事の先生を中心に声掛けをして頂いたところ、最終的にはむしろ例年以上に発表が集まりました。ちょっとした後押しが人の行動を促すこともありますので何とぞよろしくお願いたします。

今一つは、大会や研究会での発表、論集の投稿などぜひ「アウトプット重視」で積極的に取り組んで頂きたいということです。第二次世界大戦時、イギリスのレーダー開発の総責任者だったロバート・ワット卿はこんな言葉を残しました。

三善を戦場に送れ。

次善は間に合わない。

最善は完成しない。

これは私の好きな言葉で、拡大解釈して自分の研究上の指針にしています。「三善」はベストを尽くさないとか、適当にやるという意味ではありません。自分でもまだ足りないところがあると思われる研究でもとりあえず発表して、他の先生方のご批判をあおぐ。ある程度定期的なアウトプットを自分に課すことで、成長が望めるような気がするのです。いい加減な発表はできないと感じる完璧主義の方も、是非修行の場と割り切って当学会をご活用頂ければ幸いです。

最後になりますが、会員各位のご健康と教育研究活動の充実を心よりお祈りして挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

会長あいさつ	1
ブロック研究会活動報告	
北海道ブロック、関東・東北ブロック	2
中部ブロック、近畿ブロック	3
中国・四国ブロック、九州・沖縄ブロック	4
各委員会からのお知らせ・事務局からの連絡・新入会員の紹介・第43回全国大会のご案内	5

ブロック研究会活動報告

研究発表一覧の矢印(→)以降に示された番号は次の研究対象領域を示しています(詳しくは学会HPをご参照ください):【1】ビジネス実務教育 1) カリキュラム検討 2) ビジネス実務の教育プログラム開発と教材開発 3) 教育方法の研究、【2】ビジネス実務研究 1) ビジネス環境とビジネス実務 2) 人材育成と能力開発。

また、運営委員一覧は2024年3月現在のものです、◎はブロックリーダー、○はサブリーダーを示しています。

北海道ブロック

●2023年度 北海道ブロック研究会

日時: 2024年3月3日(日)

会場: 北海商科大学

のべ参加人数: 11人

●研究発表一覧

小林純、石田麻英子、和田早代(札幌国際大学短期大学部)

「心理工学に基づく職務適性とキャリア意識の変化」

→【1】の3)

千葉里美(北海商科大学)

「フィンランドから学ぶウエルビーイング時代の移動ビジネスに関する一考察」

→【2】の1)

●講演

テーマ「時代の変化における社会変化と最新ビジネス」

講演1: 川名早苗氏(北星学園大学非常勤講師ほか)

「多様性が求められる時代のジェンダーとキャリア形成」

講演2: 兵藤安昭氏(ソフトバンク株式会社 公共事業

推進本部 担当課長)

「ヤフービッグデータの公共領域、ビジネス領域での利活用について」

●総括

今年度の研究会は、4年ぶり対面にて開催しました。参加率は、55%と高く、少人数ながらも活発な意見交換となり盛会で終了しました。ブロック研究会では、「時代の変化における社会変化と最新ビジネス」をテーマに、ジェンダー教育とキャリア形成、そしてビッグデータ利活用と最新ビジネスの2つの講話をいただきました。1つ目のジェンダーについては、講話冒頭にジェンダーの無意識偏見に関するアンケートを実施してからの講話であったことから、ジェンダーバイアスやキャリア形成におけるジェンダートラッキングについて自分ごととして捉え理解することができました。ビッグデータについては、消費者行動モデルAISASの一手段として、マーケティングだけではなく様々な社会サービスへの反映について具体的事例と合わせて理解することができました。COVID-19以降、社会やビジネス環境の変化は著しいので、引き続き最新のビジネス知識をインプットできる場としてブロック運営していきたいと思っております。

●運営委員一覧

◎千葉里美(札幌国際大学)

○和田早代(札幌国際大学短期大学部)

高橋秀幸(北海道武蔵女子短期大学)

小林純(札幌国際大学短期大学部)

関東・東北ブロック

●2023年度(第50回) 関東・東北ブロック研究会

日時: 2024年2月17日(土)

会場: 目白大学・目白大学短期大学部

のべ参加人数: 26人

●第42回全国大会奨励賞受賞報告

町田由徳(ものづくり大学)

「渋沢栄一プロジェクト - PBLによるデザイン思考教育について -」

→【1】の3)

●研究発表

周藤亜矢子(常磐短期大学)

「企業秘書の感情労働に関わる要因インタビューの計量テキスト分析」

→【2】の1)

●実践事例報告

上岡史郎(目白大学短期大学部)

「短期大学生におけるアクティブラーニング型授業での学習成果について」

→【1】の3)

●パネル・ディスカッション

「企業におけるビジネス実務教育—人材育成の取り組みと課題—」

パネリスト:

佐藤秀和氏(スタートコーポレーション株式会社 人事本部 人事開発部部長)

飯野誠氏(株式会社レリアン 人事・総務部部長)

渡辺あゆ美氏(株式会社福島キャリアナビ 専務取締役)

コーディネーター: 坪井明彦(高崎経済大学)

●総括

ブロック研究会としては、2018年度以来5年ぶりに対面で開催することができました。パネル・ディスカッションは、本学会の研究対象領域のメイン領域の一つである「人材育成と能力開発」について、パネリスト各企業の取り組みをご紹介いただきました。企画の目的のひとつは、本学会のビジネス実務研究【2】の2)「人材育成と能力開発」(組織においてどのような人材育成・能力開発が行われているかを明らかにし、「働く個人の能力向上」に貢献する研究)の領域の研究の促進に寄与することでした。企業におけるビジネスパーソンへの能力開発の取り組みを聴いて、将来のビジネスパーソンに対する教育のあり方について考えるということも、もうひとつの目的でした。また、3件の研究発表・報告についても、活発な質疑が交わされ、充実した研究会となりました。

●運営委員一覧

- ◎坪井明彦（高崎経済大学）
- 小松由美（目白大学短期大学部）
- 牛山佳菜代（目白大学）
- 大塚映（BSCM 総合研究所）
- 加納輝尚（昭和女子大学）
- 上岡史郎（目白大学短期大学部）
- 後藤和也（山形県立米沢女子短期大学）
- 齋藤裕美（多摩大学）
- 周藤亜矢子（常磐短期大学）

では、多くの大学の課題である教学 IR の役割について議論が行われ、充実した研究会となりました。

●運営委員一覧

- ◎河合 晋（岐阜協立大学）
- 岡野 大輔（金城大学）
- 上野 真由美（名古屋女子大学短期大学部）
- 梶山 亮子（千葉経済大学短期大学部）
- 大須賀 元彦（中京学院大学）
- 川瀬 真弓（岐阜大学）

中部ブロック

●2023 年度ブロック研究会

日時：2023 年 2 月 22 日（木）～23 日（金）
会場：中京学院大学（対面）
のべ参加人数：29 人（2 日間）

●研究発表一覧

- 富田宏（中京学院大学短期大学部）
「保育科における「選択科目：文章表現」の課題」
→【1】の1)
上野真由美（名古屋女子大学短期大学部）
「短期大学におけるビジネス実務教育の取組み—サービス
接遇検定準1級の指導から—」
→【1】の3)
岡野大輔（金城大学）
「北陸地域におけるビジネス実務教育の現状と課題～ビ
ジネス実務の特質を踏まえて～」
→【1】の1)
川瀬真弓（岐阜大学）
「デザイン思考を用いたグループ指導と成果物の評価」
→【1】の3)

●学生発表一覧

- 川淵怜央・神尾拓真（中京学院大学経営学部 4 年）
「総合型地域スポーツクラブにおける組織運営の現状と
課題—中京学院大学クラブの事例から—」
坪井雅樹・信岡咲羅（愛知東邦大学経営学部 2 年）
「Alma Linux 物語と体験」
佐藤里帆（岐阜大学社会システム経営学環 3 年）
「岐阜市の農作物直売所における販売実態」

●シンポジウム

- 「大学教育における教学 IR の役割」
報告者：大須賀元彦（中京学院大学）
コーディネーター：手嶋慎介（愛知東邦大学）
パネリスト：西川三恵子（九州共立大学）
堂野崎融（九州共立大学）
松井慶太（愛知東邦大学キャリア支援課）
大須賀元彦（中京学院大学）

●総会

日時：2023 年 2 月 22 日（木）
会場：中京学院大学（対面）
人数：29 人（委任 20 人）

●総括

4 年ぶりの対面で、従来からの懇親会を含む 2 日間開催
に戻しました。会員各位にお目にかかれ、活発な意見交
換が行われました。また、今回から、学生発表の枠を設
け、3 件の興味ある発表が行われました。シンポジウム

近畿ブロック

●2023 年度（第 60 回）近畿ブロック研究会

日時：2024 年 2 月 18 日（日）
会場：近畿大学東大阪キャンパス
のべ参加人数：24 人

●研究発表一覧

- 西尾久美子（近畿大学）
「『教える』立場のキャリア形成—京都花街の芸妓の事例
—」
→【2】の2)
松本清（東京工業大学）
「業務改善における課題の社会心理学的考察：アンケ
ート調査業務支援を事例に」
→【2】の1)

●研修会

- 「昨今の就活事情と若者の就業感の変化」
講師：栗田貴祥氏（株式会社リクルート 就職みらい
研究所 所長）

●その他の活動報告：助成研究報告

- （最終報告）
福井就（大手前学園）
「東南アジア（ベトナム・ミャンマー）からの留学生募
集研究」
水野武（摂南大学）
「キャリア教育科目履修者のネットワークの変化がキャ
リア形成に及ぼす影響」

●総括

近畿ブロックとしては昨年に引き続き対面での開催とな
りました。研究発表では、ビジネス実務研究分野の 2 件
の発表でした。1 件目は、京都花街での人材育成につい
て、2 件目は、アンケート調査業務に焦点を当てた研究
内容であり、2 件とも非常に興味深い内容でした。また、
研修会では、学生の就業感をテーマに企業や学生への調
査による講義をして頂き、活発な意見交換となる内容で
した。また今回の研究会は、非会員の参加が多く、本学
会を知って頂く良い機会となりました。

●運営委員一覧

- ◎岩井貴美（近畿大学）
- 湯口恭子（近畿大学）
- 福井就（大手前学園）
- 坂本理郎（大手前大学）
- 高松邦彦（東京工業大学）
- 樋口勝一（甲子園大学）

中国・四国ブロック

●2023年度（第40回）中国・四国ブロック研究会

日時：2023年8月26日（土）・27日（日）
会場：四国大学交流プラザ（JR徳島駅前）
のべ参加人数：19人

●研究発表一覧

福本章（大阪成蹊大学）

「ビジネス実務教育における金融教育の方向性について
—学習指導要領の改訂に伴う視点から考察—」

→【1】の3)

名和晋也（鳥取短期大学）

「学びの『見方・考え方』から職業人に必要な『資
質・能力』育成についての研究」

→【1】の3)

佐々木公之（中国学園大学）

「YouTubeを活用した多言語による岡山市でのPBLと社
会人基礎力」

→【1】の3)

◎佐々木公之（中国学園大学）、福本章（大阪成蹊大学）、
吉田順子（広島女学院大学）、名和晋也（鳥取短期大学）、
石床渉（せとうち観光専門職短期大学）

ブロック共同研究助成による発表

「YouTube導入によるビジネス実務教育の多様な可能
性とその効果検証」

→【1】の3)

●ゲストスピーカーによる講演

「大学と社会：ガラパゴス日本」

講師：桐野豊（きりのゆたか）先生（元東京大学副学長・
元徳島文理大学学長）

詳細についてはブロック会報・第37号をご覧ください。

●その他の活動報告

同日に第18回学生プレゼンテーション大会

中国学園大学1名、中国学園大学1名、徳島文理大学短
期大学部1名、安田女子大学5名、山陽女子短期大学2
名、の合計10名の学生が参加。

詳細についてはブロック会報・第37号をご覧ください。

●総括

中国・四国ブロック研究会を四国大学交流プラザで開催
しました。今回は、研究発表も4件あり、先生方の活発
な意見交換の場になりました。学生プレゼンテーション
大会においても、岡山、広島から学生が参加し、学生同
士の交流も盛んにおこなわれていました。また、今回、
上記研究発表にあげたブロック共同研究助成による発表
も行われたことで、今後、引き続き共同発表や個人での
発表に力を入れていくため、助成金の継続について議論
がされましたが、助成金額を減額しても継続することで、
理解を得ることが出来ました。また、学生プレゼンはこの
ブロック研究会の特筆イベントともなっていますが、
これは従来通り、素晴らしいパフォーマンスを得ること
ができました。

●運営委員一覧

◎金岡敬子（山陽女子短期大学）

○立花知香（安田女子短期大学）

堀口誠信（徳島文理大学短期大学部）

名和信也（鳥取短期大学）

片山友子（四国大学短期大学部）

吉田順子（広島女学院大学）

九州・沖縄ブロック

●2023年度（第66回）九州・沖縄ブロック研究会

日時：2024年2月24日（土）13:30～17:00
会場：Zoomによる遠隔方式

●研究発表一覧

毛利美穂（関西大学）

「大学院リカレント教育における能力評価の設計とその
可視化」

→【1】の3)

徳永彩子（熊本学園大学）・所吉彦（岐阜協立大学）

「女性管理職の一度むけた経験 —サンリブの事例研究
—」

→【2】の2)

武村順子（宮崎学園短期大学）

「地域医療を担う中小規模病院の経営理念研究—職員の
動機付けや存続経営を視点に—」

→【2】の2)

●基調講演&グループワーク

「生成系AIの授業活用の可能性」

講師：堺勝信氏（アクセンチュア株式会社 AIセンタ
ー マネジング・ディレクター）

●振り返り

参加人数は18名（運営委員会メンバー除く）。

アンケート結果は以下（n=12、5とても満足～4やや満
足～3普通～2やや不満～1とても不満）。

【研究発表】4.75

【基調講演】5.00

【感想】現場の社会人からの最先端のAIの現状と授業
活用の提案は大変ためになった、今後授業で活用する意
欲が高まった、グループワークで他大の先生の授業活用
の例を学べてよかったという意見が多かった。また、も
っと質疑応答の時間を増やしてほしいという意見があっ
た。

●運営委員一覧

◎見館好隆（北九州市立大学）

○石橋慶一（中村学園大学短期大学部）

天野緑郎（MC&フューチャーコンサルティング）

井上奈美子（福岡県立大学）

大重康雄（志学館大学）

武村順子（宮崎学園短期大学）

徳永彩子（熊本学園大学）

藤村やよい（日本秘書協会）

柳田健太（近畿大学）

各委員会からのお知らせ・事務局からの連絡

■総務・企画委員会
委員長 河合晋（岐阜協立大学）

本学会が2019年度に新設した「ビジネス実務研究助成」では、今年度、共同研究（A）1件及び個人研究（B）3件の申し込みがありました。この助成は、若手の先生方や実務家から転身して日が浅い先生方のスタートアップ支援が主な目的ですので、継続研究を認めないという条件や、テーマの異なる研究であっても同一の正会員は2年連続で助成を受けることができないといった条件があります。ご注意ください。今後とも若手の先生方や実務家から転身して日が浅い先生方からのご応募をお待ちしております。

なお、助成金額のアップも今後検討して参りますので、引き続き、宜しくお願いいたします。

■研究推進委員会
委員長 小松由美（目白大学短期大学部）

2023年6月10日、11日の全国大会（近畿ブロック主催：大手前学園さくら厨川キャンパス）は、数年ぶりに対面で開催できました。直接お顔を合わせられたことから、会場のあちらこちらで話が尽きないほど盛況な大会となりました。2024年度の全国大会も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2024年2月3日にオンラインセミナー「科研費申請書の書き方講座」を実施しました（参加者16名）。講師の見館好隆先生のわかりやすいお話に加え、参加者との活発なやり取りもあり、今後の研究活動に弾みがつく、大変有意義で満足度の高い講座となりました。

2023年度申請の研究助成は、共同研究（A）1件、個人研究（B）2件が採択されました。研究成果を2025年度の全国大会でご発表いただきます。

■編集委員会
委員長 手嶋慎介（愛知東邦大学）

『ビジネス実務論集 No. 42』への投稿は17編、審査通過は13編でした。最終的には論文2編、研究ノート4編、資料4編（うち理論・調査研究4編、教育開発研究6編）に加え、特別寄稿1編の計11編となりました。前年より投稿数も多く、J-STAGEへの掲載も多くなりました。次号も、より多数の投稿をよろしく願います。

■広報委員会
委員長 坂本理郎（大手前大学）

学会報78号を、予定通り2023年9月に発行し、次の80号（本号）を2024年3月に発行しました。また、学会ウェブサイトのドメインを変更してセキュリティを高めると同時に、管理・運営業務を専門業者に委託することを実現しました。

今後、ウェブサイトに掲載されたい事項がござい

たら、所属ブロックのリーダーを通じて、広報委員会までご依頼ください！

■事務局
事務局長 加納輝尚（昭和女子大学）

所属、郵送先住所、会員種別、登録メールアドレスに変更があった場合、または退会ご希望の場合は、学会事務（business.jitumu@gmail.com）までご連絡してください。円滑な事務局運営にご協力をお願いいたします。

新入会員の紹介（2023年7月～2024年2月）

■正会員

（氏名・敬称略）	（所属先）	（所属ブロック）
片岡美稀	香川短期大学	中国・四国
佐藤美輪	仙台青葉学院短期大学	関東・東北
松本清	東京工業大学	近畿
須栗大	中京学院大学	中部

第43回（2024年度）全国大会のご案内

■中国・四国ブロック主催

■統一テーマ：Society5.0時代を見据えたビジネス実務

■会場：安田女子大学・安田女子短期大学

■日時：2024年6月8日（土）～9日（日）

実行委員長：金岡敬子（山陽女子短期大学）

事務局長：立花知香（安田女子大学・安田女子短期大学）



詳細については、第43回全国大会・第1号通信または学会HPをご覧ください。

日本ビジネス実務学会会報 No. 80

日本ビジネス実務学会・広報委員会
（坂本理郎・後藤和也・岩井貴美・福井就・堀口誠信・名和晋也）

JSABs
Japan Society of Applied Business Studies

広報委員長（坂本） e-mail : riro-s@otemae.ac.jp